



第 17 号

2012年2月13日 発行

編集発行

日本看護系学会協議会

(事務局) 〒252-8530

神奈川県藤沢市遠藤4411

慶應義塾大学 看護医療学部内

日本看護系学会協議会 事務局

E-mail : jana-jimukyoku@sfc.keio.ac.jp

FAX : 0466-49-6225

平成23年度の看護界を概観して



日本看護系学会協議会 理事

河 口 てる子

平成23年度は、日本にとっても、看護界にとっても怒涛の1年でした。2011年3月11日に発生した東日本大震災は、東北から関東地方にかけて太平洋側の広範囲に大地震と巨大津波を引き起こしました。その地震と津波により福島第一原子力発電所事故が発生し、放射性物質漏れによる汚染により、人々が放射線の怖れに慄きました。しかも、それがこの先ずっと続きそうな予感のする1年でもありました。放射線の汚染は、日本から外国人が一斉になくなるという現象まで引き起こしました。地震による直接的な影響を受けなかった地域でも、電力危機や原子力発電所の再稼働問題が発生しています。

そして巨大津波による大災害は、看護をも変化させました。看護界では、阪神大震災で芽生えた災害看護の小さな芽が、その必要性を感じた広範囲の看護師へと広がり、災害看護学確立の必要性和発展をうながしました。日本看護系学会協議会でも、シンポジウム「東日本大震災—いま、求められる看護系学会の活動」を企画し、単に救援活動だけではない、諸機関とのネットワークの構築、健康ニーズの把握、被災の支援にあたる医療者の支援、システム作り等に活動が広がりました。

一方、医療の世界では、いわゆる特定看護師（仮称）

が急速に法制化へと進行しつつあります。この特定看護師検討では、看護界は高度実践看護師の方向性について、待たなしで決定を迫られました。看護系学会協議会、看護系大学協議会、日本学術会議看護分科会など各組織の役員および委員は「特定看護師（仮称）に係る緊急対策会議」を企画し、高度実践看護制度検討を加速させ、特定看護師とのすりあわせ、歩み寄りも諮りました。

しかし、今回の特定看護師（仮称）検討は、医師の不足を補うために、看護師の業務拡大を無理に進めるという流れを強く感じました。看護を核として看護師の役割拡大が論議されないという、看護にとって大いなる危惧を感じる流れでした。医行為のみに着目し看護師の診療の補助業務を拡大する路線は、将来看護の自律性、専門性発展に禍根を残しそうな気配です。

このような状況になったのも、私たちが一般の人々を巻き込んでの看護の将来性議論をしてこなかったからかもしれません。そのつけを今、支払わされるのかもしれない。先行きは不透明さが漂いますが、それゆえ、一層国民の利益となる流れを看護界自身が作り上げなければと、皆で決意を新たに活動していくことを、役員一同誓います。



日本看護系学会協議会・日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分会共催

第14回シンポジウム「東日本大震災 —いま、求められる看護系学会の活動Part II—」

2011年12月3日、高知市文化プラザ「かるぼーと」において、日本看護系学会協議会・日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分会共催の第14回シンポジウム「東日本大震災 —いま、求められる看護系学会の活動Part II—」が、片田範子理事の司会により開催されました。当日は、第31回日本看護科学学会学術集会のプログラム終了後という遅い時間にもかかわらず、多く参加者を得て、中長期支援における看護支援活動の課題について熱心な討議が交されました。以下、各シンポジストの発言要旨を掲載させていただきます。なお、当日の詳しい内容は、本協議会のホームページにも掲載しておりますので、ホームページもぜひご覧ください。



日本災害看護学会の災害看護活動

日本災害看護学会前理事長

山 田 覚

日本災害看護学会は、阪神・淡路大震災を契機に1998年に発足し、災害看護学の知識や実践の体系化をはかり、災害看護学の発展を通して、人々の生活と健康に寄与することを目的に掲げ、これまで活動して参りました。

本学会では、災害に対する具体的な活動として初期調査、初動調査、先遣隊というシステムを有しております。学会発足直後から、初期調査（発災直後の電話調査）と初動調査（発災1～2ヶ月後の現地調査）は行っておりましたが、発災直後の現場の状況が電話では十分に把握できないこと、および大災害の場合にはその様な情報収集ができないことから、これまでの国内での災害看護活動を通して、先遣隊というシステムを作り上げて来ました。

先遣隊とは、大規模な災害が発生した場合、災害看護の専門家として、現地に入り、看護ケアの提供や支援体制を現場で整える役割（ケア体制作りの助言や橋渡し）の一部を担いつつ、被災者などの健康問題、看護ニーズ等の情報収集と査定を行い、必要な支援を明確にする精鋭部隊です。正式な派遣ルールが規定されて以来、東日本大震災対応が

3回目の派遣となりました。今回は発災翌日の3月12日から関東方面に1隊と、東北方面に2隊を派遣しました。特に東北地方の先遣隊は、結果的に福島、宮城、岩手の各県への派遣となり、3月23日まで3次隊を派遣しております。

その後、発災後の1ヶ月半から2ヶ月の活動として先遣隊3隊を福島、宮城、岩手にそれぞれ派遣し、継続的な活動として、先遣隊のフォロー調査隊を7月下旬から8月上旬に各県へ派遣し調査を行いました。

これらの活動の報告は、本学会のホームページに、日々の活動およびまとめた報告書として掲載しています。また、今後の活動として、日本災害看護学会では、「東北プロジェクト」を立ち上げ、以下の活動を計画しています。①被災地域の情報集積と災害時健康問題明確化への支援、②被災地域（仮設住宅等）の健康管理・心のケア、③支援者に対する支援（心のケア、等）、④被災地看護師の雇用支援、⑤原発災害への看護支援、⑥災害への備え（特に急性期での課題）

日本精神保健看護学会の災害看護活動

日本精神保健看護学会

理事長・災害支援特別委員会委員長

田 中 美恵子

日本精神保健看護学会では、「災害支援特別委員会」の設置し、災害支援活動を展開しています。災害支援特別委員会は、「東日本大震災の被災者支援のために有用な情報を収集・発信し、関係する学会や団体等と連携して可能な限り支援活動を推進すること、および被災者支援を行う看護職者の心の健康をサポートすること」を目的に、3月の災害支援事務局の設置を先駆けとして、6月の総会時に設

置されました。

活動の焦点として、1. 災害支援に役立つ情報の発信、2. 心のケアに関する研修会の開催、3. 他団体との連携活動、4. 被災者支援を行う看護職者の支援の4点を置いています。当初は、HPからの情報発信、研修会の開催を中心に活動し、4月と5月には、東京、神戸で「災害による心理的影響と被災者・援助者のこころのケア」をテーマ

に、近澤範子理事を講師として、被災地支援に行かれる看護者を対象として研修会を開催しました。また6月の学会開催時には、理事会企画セミナーとして「看護師による災害支援の実際－私たちはどうしたか?」を開催し、岩手、宮城、福島でそれぞれ活発な支援活動を展開されている会員の安保寛明氏、高橋葉子氏、大川貴子氏の報告を聞く機会を設けました。

その後は、看護師・保健師等の支援者支援に焦点を当てて活動を展開することに定め、被災地とのネットワークを作ることに力を傾けてきました。幸い、さまざまな方々のご尽力もあり、活動を通して、次第にネットワークが形成されてきました。現在は、

1. 宮城心のケアセンター、宮城県看護協会の共催による「気仙沼の看護師支援」、
2. 宮城学院女子大学、国際基督教大学、熊本大学大学院との共催による「震災復興支援ジョイントプロジェクト」の2つの企画を中心に活動をしています。

1. の「気仙沼の看護師支援」では、気仙沼の看護師を対象にサポートグループを行っています。10月に1度開催し、次は2月4日に開催予定です。

2. の「ジョイントプロジェクト」は、①復興支援にあたる看護師・保健師からの相談対応と心理的支援、②災害弱者である精神障害者の支援にあたる看護師・保健師を対象とした、対応方法やケアについての相談会、③震災からの心の回復に関連した、一般の方々を対象とした講演会・相談会を目的に活動しています。12月に「災害支援において対応に困るケースへの対応」として、グループ相談会を開催しました。今後の予定は以下の通りで、講演会とグループワークを開催します。

平成24年2月11日(土) 13:30~16:00

於・宮城学院女子大学(仙台市青葉区)

「被災者支援に携わる看護師・保健師へのケアのために」
講師：近澤範子氏

平成24年3月17日(土) 13:30~16:00

於・宮城学院女子大学(仙台市青葉区)

「被災者支援に携わる看護師・保健師へのケアのために」
講師：安藤幸子氏

なお、本学会の災害支援活動に対し、「公益社団法人日本看護科学学会災害支援事業」から災害看護支援資金の助成をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

日本赤十字看護学会

－東日本大震災における赤十字救護活動の経験知を分かち合い、新たな学会活動の課題を探る－

日本赤十字看護学会理事

理事・教育活動委員会委員長

小原真理子

今回の未曾有の大震災において、日本赤十字社は発災直後から日赤DMAT、赤十字救護班845個班(10月30日現在)、こころのケアチーム718人(9月1日現在)、看護ケア班17人(9月9日現在)、病院支援チームなどを現地へ派遣し、救護活動を行ってきた。日本赤十字看護学会会員は、赤十字病院や看護教育機関等に所属する看護職が多く、東日本大震災の救護活動を通して災害看護の経験を積んでいる。

日本赤十字看護学会災害看護活動委員会(以後、本委員会)では、被災地における健康・生活状況の把握と訪問活動に続き、学会ホームページ等に活動報告を掲載、更に第12回日本赤十字看護学会指定交流集会で救護活動の経験知の分かち合いについて企画運営を行った。今回のシンポジウムでは、本委員会が行った活動と今後の課題について報告を行った。

1. 日本赤十字看護学会災害看護活動委員会の活動目的
経験豊富な赤十字の災害看護に関する「経験知」を掘り起こし、「形式知」として共有する資料や場を提供するなど、災害看護の発展に資するために活動する。2008年に発足、今までも、調査活動や災害看護セミナーを開催してきた。

2. 活動内容

- ① 平成23年4月23日～25日東日本大震災被災地の石巻市、女川町、気仙沼市の病院及び避難所を訪問。被災地看護職、支援看護職等からヒアリングを行った。
- ② 平成23年6月26日第12回日本赤十字看護学会交流集会を企画。「東日本大震災における赤十字救護班看護師の活動経験知と今後の課題」のテーマで開催した。また同会場に関連する写真展を開催した。
- ③ ①、②について日本赤十字看護学会ホームページや

ニュースレターに掲載した。

- ④ 第13回日本災害看護学会組織ブースに、本委員会の活動の共有化を目的に出展を行った。
 - ⑤ 赤十字病院に所属する被災看護職及び支援看護職を参加者に、「赤十字災害看護の伝承」をテーマに、継続的に研究に取り組んでいる。
 - ⑥ 平成24年3月3日第4回災害看護セミナー「被災地内病院における初動体制と看護管理者の役割」のテーマで開催予定。
3. 今後の課題
- ① 日本赤十字看護学会会員を対象に、活動経験知を共有化する場づくりと広報活動の強化に取り組む。
 - ② 得られた救護活動の経験知を学会協議会を通して、他学会と連携するシステムの構築を行う。
 - ③ 被災地においてNPO等が展開している個別的な支援活動とも連携する。



研究所として / WHO 看護協力センターとして

兵庫県立大学地域ケア開発研究所

(WHO 災害と健康危機管理に関する看護協力センター)

教授 山本 あい子

東日本大震災発生を受けて、本研究所の教員が行った、あるいは行っている活動は、①情報収集（被災地の状況把握のため、および支援に現地に入るため）、②情報発信（お見舞いメールへの対応、既存の知識をメール・印刷物・webを介して発信、学会や国際会議の場における状況報告等）、③通信手段の確保（災害時に通信可能な手段の模索と企業への提供依頼と借用）、④災害支援ナースとして、関西広域連合を介しての派遣に参加、⑤被災地の大学に必要な物資を提供（長靴・マスク・ゴーグル・ホイッスル・野菜ジュース・果物の缶詰等）、⑥兵庫県立大学が行う支援策への参画（被災地の教育機関へのお見舞い、宮城大学との連携による学生ボランティア活動等）、⑦被災地からの相談事項へのコンサルテーションの実施（乳幼児検診時の問診内容について、仮設住宅支援内容について等）、⑧被災地大学との協同事業の計画・実施（仮設住宅住民健康支援）、⑨人材育成（災害支援ナースに対する教育提供、公開講座開催、WHO 神戸センターとの合同フォーラムの開催）、⑩報道機関への対応（新聞やラジオなどマスコミ対応）、等です。これらの活動を踏まえて、今後は下記7点

の活動が必要だと考えています。

- 1) 人や物を輸送する方略の国内ならびに国際ネットワークの構築として、阪神・淡路大震災の活動を元に、日本の看護界は災害時支援ナース派遣体制を構築していますが、看護界内だけのネットワークに加えて、物流や通信技術を含めた他分野とのネットワーク構築を行うこと。
- 2) 国内外における各学会の開催時には、災害関連のセッションを必ず設定し、知識・情報発信を行い、人々の災害に対する意識を活性化させること。
- 3) 災害時の人々の健康問題 / 課題を明確にし、必要物資やより特化した能力を持つ看護師の派遣を可能にするための情報収集・集積体制を構築すること。
- 4) 災害時の人々の生活と健康状態等、データベースを構築すること。
- 5) 既存の知識の検証と新たな知識の統合（それに向けた学会による研究支援を含む）。
- 6) 災害看護のリーダーやコーディネーター育成等の人材育成を行うこと。
- 7) 研究協力者として、研究に参加すること。

【平成 24 年度日本看護系学会協議会総会のご案内】

日 時：平成 24 年 6 月 24 日（日）13 時～

場 所：慶応義塾大学 信濃町キャンパス（東京都新宿区：JR 中央線・総武線「信濃町」駅下車徒歩約 1 分）

◎会員学会のご参加よろしくお願いたします。

日本看護系学会協議会会員名簿（平成24年 1月31日現在）

会 員 名	会 員 名
・ 高知女子大学看護学会	・ 日本循環器看護学会
・ 聖路加看護学会	・ 日本小児看護学会
・ 千葉看護学会	・ 日本助産学会
・ 日本家族看護学会	・ 日本新生児看護学会
・ 日本看護科学学会	・ 日本腎不全看護学会
・ 日本看護管理学会	・ 日本生殖看護学会
・ 日本看護技術学会	・ 日本精神保健看護学会
・ 日本看護学教育学会	・ 日本赤十字看護学会
・ 日本看護教育学学会	・ 日本地域看護学会
・ 日本看護研究学会	・ 日本糖尿病教育・看護学会
・ 日本看護診断学会	・ 日本難病看護学会
・ 日本看護福祉学会	・ 日本母性看護学会
・ 日本看護歴史学会	・ 日本慢性看護学会
・ 日本がん看護学会	・ 日本ルーラルナーシング学会
・ 日本救急看護学会	・ 日本老年看護学会
・ 日本クリティカルケア看護学会	・ 日本看護医療学会
・ 日本災害看護学会	・ 日本看護倫理学会
・ 日本在宅ケア学会	・ 日本創傷・オストミー・失禁管理学会
・ 日本手術看護学会	・ 日本アディクション看護学会

【役 員】

会 長	太 田 喜久子
副会長	片 田 範 子
副会長 (学術振興会)	小 松 浩 子
理 事 (企 画)	遠 藤 俊 子
理 事 (会 計)	数 間 恵 子
理 事 (会 計)	河 口 てる子
理 事 (学術振興会)	島 内 節
理 事 (広 報)	田 中 美恵子
理 事 (モデル事業)	手 島 恵
理 事 (企 画)	野 嶋 佐由美
理 事 (庶 務)	宮 脇 美保子
理 事 (学 術 会 議)	南 裕 子
監 事	川 嶋 みどり
監 事	金 川 克 子

一編集後記一

今期の役員の任期も、次の6月の総会で終了となります。この3年間、特定看護師問題や東日本大震災など、多くのことがありましたが、その時々に関員一同力を合わせて取り組んできたと思います。日本看護系学会協議会のさらなる発展を祈念しております。

(広報担当理事・田中美恵子)

学 会 名	理 事 長	学 会 連 絡 先						ホームページアドレス
		郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX	学会 E-mail	宛先 (担当者)	
1 高知女子大学看護学会	松本 女 里	781-8515	高知県高知市池2751-1 高知県立大学看護学部内	(088)847-5524	(088)847-5524	yamanaka@cc.u-kochi.ac.jp	松本 女 里	http://www.kochi-wu.ac.jp/~nsgakkai/index.html
2 聖路加看護学会	山田 雅 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1	(03)3543-6391	(03)5565-1626	slnr@slcn.ac.jp	山田 雅 子	http://sinr.umin.jp/
3 千葉看護学会	宮崎 美砂子	260-8672	千葉県千葉市中央区支鼻1-8-1 千葉大学看護学部内	(043)226-2421	(043)226-2421	cans-adm@umin.ac.jp	増島 麻里子	http://cans.umin.jp/
4 日本家族看護学会	石垣 和 子	929-1210	石川県かほく市学園台1-1 石川県立看護大学内	(076)281-8374	(076)281-8374	family_chiba_u_2007@yahoo.co.jp	石垣 和 子	http://square.umin.ac.jp/jarfn/
5 日本看護科学学会	小松 浩 子	113-0033	東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201	(03)5805-1280	(03)5805-1281	jans-office@umin.net	小松 浩 子	http://jans.umin.ac.jp/
6 日本看護学教育学会	小山 眞理子	105-0012	東京都港区芝大門2-12-6 芝ハタビル402	(03)5472-7455	(03)5472-7465	jimukyoku@jane-ns.org	小山 眞理子	http://www.jane-ns.org
7 日本看護管理学会	鶴田 恵 子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内 日本看護管理学会事務局	(03)3409-1290	(03)3409-1290	janap@redcross.ac.jp	鶴田 恵 子	http://janap.umin.ac.jp
8 日本看護技術学会	菱沼 典 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖 路加看護大学大久保研究室 付 日本看護技術学会事務局	(03)5550-2253	(03)5550-2253	jsnas@slcn.ac.jp	菱沼 典 子	http://www.jsnas.jp/
9 日本看護教育学会	永野 光 子	260-8672	千葉県千葉市中央区支鼻1-8-1 千葉大学看護学部 看護教育教育研究分野気付	(043)226-2397	(043)226-2397	jasne-office@umin.ac.jp	舟島 なをみ	http://jasne.umin.jp
10 日本看護研究学会	山口 桂 子	260-0015	千葉県千葉市中央区富士見2 丁目22番6号 富士ビル6階	(043)221-2331	(043)221-2332	jsnr@bridge.ocn.ne.jp	山口 桂 子	http://www.jsnr.jp
11 日本看護診断学会	小田 正 枝	160-0022	東京都新宿区新宿1-15-11 イマ キイレビル ㈱グローバルエクス プレス・国際会議センター内	(03)3352-6223	(03)3352-5421	jsnd@convention-access.com	任 和 子	http://jsnd.umin.jp/
12 日本看護福祉学会	岡崎 美智子	810-0072	福岡県福岡市中央区長浜1-3-1 国際医療福祉大学 福岡看護 学部天神キャンパス内	(092)739-4358	(092)739-4343	okazaki-m@iuhw.ac.jp	岡崎 美智子	http://kangofukushi.sakura.ne.jp/
13 日本看護歴史学会	川嶋 みどり	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)3409-0613	(03)3409-0589	yamazaki@redcross.ac.jp	山崎 裕 二	http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/
14 日本がん看護学会	鈴木 志津枝	204-8575	東京都清瀬市梅園1-2-1 国立看護大学校 日本がん看護学会 飯野京子	(042)495-2354	(042)495-2639	iinok@adm.ncn.ac.jp	飯野 京 子	http://jscn.umin.jp
15 日本救急看護学会	中村 恵 子	164-0001	東京都中野区中野2-2-3 榎へるす出版事業部内	(03)3384-8030	(03)3380-8627	jaen@herusu-shuppan.co.jp jaen-adm@umin.ac.jp	中村 恵 子	http://jaen.umin.jp
16 日本クリティカルケア看護学会	黒田 裕 子	252-0329	神奈川県相模原市南区北里2-1-1 北里大 学大学院 看護学研究科クリティカルケア看護 学 日本クリティカルケア看護学会事務局	(042)778-9069	(042)778-9069	jaccn-office@umin.ac.jp	林 みよ子	http://jaccn.umin.jp/
17 日本災害看護学会	南 裕 子	781-8515	高知市池2751-1 高知県立大学看護学部内	(088)847-8705	(088)847-8705	jsdn@univcoop.or.jp	森下 安 子	http://www.jsdn.gr.jp/
18 日本在宅ケア学会	白澤 政 和	162-0825	東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワ ビル2F ㈱ワールドプランニング内 日本在宅看護学会事務センター	(03)5206-7431	(03)5206-7757	world@med.email.ne.jp	白澤 政 和	http://www.jahhc.com/
19 日本手術看護学会	菊地 京 子	113-0033	東京都文京区本郷3-19-7 本郷三宝ビル4F	(03)3813-0485	(03)3813-0539	jona@yacht.ocn.ne.jp	星 正 行	http://www.jona.gr.jp/index.shtml
20 日本循環器看護学会	吉田 俊 子	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑1番1 宮城大 学看護学部 吉田研究室内 日本循環 器看護学会事務局 淡路 理智子	(022)377-8242	(022)377-8242	yosidats@myu.ac.jp	淡路 理智子	http://janap.umin.ac.jp
21 日本小児看護学会	及川 郁 子	166-8532	東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学生会支援センター内 日本小児看護学会事務局	(03)5307-1175	(03)5307-1196	jschn@univcoop.or.jp	及川 郁 子	http://jschn.umin.ac.jp/
22 日本助産学会	堀内 成 子	170-0004	東京都豊島区北大塚3-21-10 アーバン 大塚3階 ㈱ガリレオ学会業務情報セ ンター内 一般社団法人日本助産学会	(03)5907-3750	(03)5907-6364	jam1987@ninus.ocn.ne.jp	堀内 成 子	http://square.umin.ac.jp/jam/
23 日本新生児看護学会	宇藤 裕 子	594-1101	大阪府和泉市堂堂町840 大阪府立 母子保健総合医療センター看護部内 日本新生児看護学会 事務局	(0725)56-3750	(0725)56-3750	neonatal@mch.pref.osaka.jp	宇藤 裕 子	http://square.umin.ac.jp/~shinseij/
24 日本腎不全看護学会	水附 裕 子	231-0005	神奈川県横浜市市中区本町6-52 横浜エクセレントⅦ305 日本腎不全看護学会 事務局	(045)226-3091	(045)226-3092	a-uchida@sis.seirei.or.jp	内田 明 子	http://ja-nn.jp/
25 日本生殖看護学会	森 明 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖 路加看護大学内 日本生殖看 護学会事務局	(03)6226-6380	(03)6226-6380	jsin@slcn.ac.jp	森 明 子	http://jsin.umin.jp
26 日本精神保健看護学会	田中 美恵子	169-0075	東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献印刷社内	(03)5389-6254	(03)3368-2822	japmhn-post@bunken.co.jp	野末 聖 香	http://www.japmhn.jp/
27 日本赤十字看護学会	濱田 悦 子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)5485-5777	(03)5485-5777	jrcsns@redcross.ac.jp	川嶋 みどり	http://jrcsns.umin.ne.jp/
28 日本地域看護学会	村嶋 幸 代	162-0825	東京都新宿区神楽坂4-1-1 ㈱ワールドプランニング内 日本地域看護学会事務センター	(03)5206-7431	(03)5206-7757	ckango@zhv.ftbb.net	永田 智 子	http://jachn.umin.jp/
29 日本糖尿病教育・看護学会	嶋森 好 子	170-0004	東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン 大塚3F ㈱ガリレオ学会業務情報セ ンター内 日本糖尿病教育・看護学会事務局	(03)5907-3750	(03)5907-6364	g015jaden-mng@ml.gakkai.ne.jp	嶋森 好 子	http://jaden1996.com/
30 日本難病看護学会	牛込 三和子	156-8506	東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室	(03)6834-2290	(03)6834-2290	hs-nanbyo-ken07@igakuken.or.jp	牛込 三和子	http://square.umin.ac.jp/intrac/

日本看護系学会協議会会員学会

2012年1月30日現在

学 会 名	理 事 長	学 会 連 絡 先						ホームページアドレス
		郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX	学会 E-mail	宛先 (担当者)	
31 日本母性看護学会	森 恵 美	260-8672	千葉市中央区支鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究科 母性看護学教育研究分野内	(043)226-2412	(043)226-2414	jsmn.office@gmail.com	坂 上 明 子 小 澤 治 美	http://www.mcn.ac.jp/bosei/
32 日本慢性看護学会	野 並 葉 子	673-8588	兵庫県明石市北王子町13-71 兵庫県立大学明石キャンパス 日本慢性看護学会 事務局	(078)925-9447	(078)925-0878	chronic.n@cnas.u-hyogo.ac.jp	野 並 葉 子	http://jscicn.com/
33 日本ルーラルナース ング学会	野 口 美和子	329-0498	栃木県下野市薬師寺3311-159 自治医科大学看護学部内	(0285)58-7512		ynagai@jichi.ac.jp	永 井 優 子	http://www.jasrun.org/
34 日本老年看護学会	太 田 喜久子	162-0825	東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビ ル2F ㈱ワールドプランニング内 日本老年看護学会事務局	(03)5206-7431	(03)5206-7757	rounenkango@nqfm.ftbb.net	太 田 喜 久 子	http://www.rounenkango.com/
35 日本看護医療学会	渡 邊 順 子	433-8558	静岡県浜松市北区三方原町3453 聖隷クリストファー大学看護学部内 日本看護医療学会事務局	(053)439-1400	(053)439-1406	jsnhc-jimu@seirei.ac.jp	炭 谷 正 太 郎	http://www.jsnhc.org/ leftpages/ask/ask.html
36 日本看護倫理学会	高 田 早 苗	135-8550	東京都江東区有明3-8-31 がん研有明病院 看護部内 濱口恵子	(03)3520-0111	(03)3570-0248	keiko.hamaguchi@jfc.or.jp	濱 口 恵 子	http://ine.umin.jp/
37 日本創傷・オスト ミー・失禁管理学会	真 田 弘 美	169-0072	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラム ダックスビル10階 ㈱春樹社 学会事業部内 日本創傷・オストミー・失禁管理学会事務局	(03)5291-6231	(03)5291-2176	etwoc@shunkosha.com	真 田 弘 美	http://www.etwoc.org/
38 日本アディクション 看護学会	松 下 年 子	350-1241	埼玉県日高市山根1397-1 埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科 松下年子研究室 内 日本アディクション看護学会事務局	(042)984-4925	(042)984-4922	jssan@saitama-med.ac.jp	日 下 修 一	http://plaza.umin.ac.jp/~ jaddictn/